



イーストのチャレンジキャンプ (2025年3月26日~28日 御殿場純福音キリスト教会)

献身の証し



2001年8月に

韓国の母教会が主催した短期宣教チームに参加し、私は福岡

の博多キリスト教会に行きました。それまで一度も宣教師になることは考えたことがなく、ただ勉強していた日本語を実際に使ってみたくてチームに参加しました。しかし、短期宣教の期間中に福岡キャンパス・クルセードが「キャラバン伝道」をする人を募集していることが分かり、それで日本に来て三ヶ月間、伝道することになりました。

「キャラバン伝道」は、日本の未伝道地域を巡りながら福音を伝える活動でした。その時に、韓国では教会が多いことが当たり前だと思っていたため、日本で教会やクリスチャンが少ないことに初めは驚きました。三ヶ月がたち、2002年4月に一旦韓国へ帰りました。その後、もう一度日本で伝道をしたと思う、三ヶ月後に再び日本へ渡り、第二期のキャラバン伝道を六ヶ月間行いました。その期間中の2002年6月には、岐阜純福音教会に1週間、

美濃クレースチャーチ 辛海雄

韓国大学生宣教会の学生たちと共に滞在しました。無教会地域である美濃市で伝道し、いつか美濃市に福音が伝えられるようにと祈りました。

その六ヶ月間のキャラバン伝道を終える頃、私は日本で宣教師として働きたいという思いを抱くようになりました。その時、マタイの福音書9章35、38節の御言葉が与えられ、私はこのように祈りました。「神様、私のような罪人のために、ひとり子イエス・キリストを世に遣わしてください。感謝します。日本には収穫が多いです。もし私のような者でも主の働きのために用いられることができるなら、どうか私を働かす手として送ってください。」

こうして、2002年11月に韓国キャンパス・クルセードから派遣され、本格的に日本で宣教師としての働きを始めました。そして2005年5月には、美濃市での教会開拓のために岐阜純福音教会の協力宣教師として働くことになりました。現在は美濃グレースチャーチを開拓し、宣教の働きを続けられることを神様に感謝しています。

パキスタン宣教報告

太田ともえ

よく「日本人は休むのが苦手」だと言われます。しかし、これは、日本人だけの問題ではないようです。多くの宣教師が抱える問題でもあります。

3月初旬、私たちの宣教団体SIMパキスタンは、毎年定例のカンファレンスを持ちました。今年のテーマは、「リニューアル」。特に、「休息」に焦点が当てられました。子供も含め、約60名が集まり、出身国籍は10か国におよびます。全員がパキスタンに住んで、それぞれの奉仕をしていますから、文化や語学、気候、対人関係、経済状態など、様々なストレスの中で生活しています。程度や内容は違えど、多かれ少なかれ疲れはあります。

ナイジェリア人説教者が、レビ記23章から語り始めました。

『七日目は全き休息のための安息日、聖なる会合の日』（レビ23:3）これが、『主の例祭』について第一番目に書いてあることをよく考えてみましょう。休むことは、聖なることと関係があるのです。」

また、彼は言いました。「よく宣教師は言います。『私は怠け者だ』と。でも、本当の問題は怠惰ではなく、『働きすぎ』であることが多いのです。」そして彼は、「身体を休めること」「たましいを主にあって休めること」「休

みと働きとの関係」というテーマについて、お話しして下さいました。

セッションに耳を傾けた後は、グループディスカッションです。それぞれが話しやすい言語グループに分かれます。私が参加したウルドゥ語グループは、全員「反省しきり」でした。それぞれがある意味で「主の前に健全ではなかったな

あ」と認め合いました。そして、ともに主の前に悔い改めたのです。

私は、カンファレンスの後、再び具体的には忙しさの中に巻き込まれました。しかし、「安息に入ろう」という望みの中にあります。うまく行かない日もあります。それでも、朝起きて主の前に安息することが、今なお至福の時です。日々のスケジュールの管理者が主であることを、毎日学ばせていただいています。



～ T P K F 三役の提言～

日本を勝ち取るために

委員長 芳三容子



私たち T P K F は強力なフェローシップを目指して歩んできましたが、新型コロナウイルスによるパンデミックにより対面で交わることが難しい時を経て現在に至っています。昨年より T P K F 大会は対面で行われるようになりこれから強力なフェローシップがまた築き上げられることを期待しています。

T P K F は教団ではなく単立教会の強力なフェローシップです。私たちは次の三つを柱として協力しながら日本のリバイバル、世界宣教のために前進しています。三つの柱とは代表者会議、T P K F 大会、ちから誌（伝道ツール）発行です。

代表者会議は一年に二回各グループから代表の先生方が集まり全体の運営や宣教の協力と前進について一泊二日で会議を持っています。T P K F 大会は現在は各グ

ループがホストも場所も持ち回りで開催、全国から集まり、一つとなって礼拝をし、みことばにより聖霊のお働きにより交わりにより励まされる特別な恵みと祝福の時です。ちから誌は日本の救いのために編集長と編集委員、宣教メディアセンターがこの働きのために仕えてくださり発行され用いられている T P K F の伝道雑誌です。

T P K F はこれらの三つの柱を大切に、新しいことをされる神様に導かれながら時代と共に新しいことが加わったり、変化したりとすることを柔軟に受け入れながら前進していきましょう。そしてマルコ16:20「弟子たちは出て行って、いたるところで福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばを、それに伴うしるしをもって、確かなものとされた。」このみことばが各地で成就するように宣教の働きを前進させていきましょう。もう刈り入れるばかりになっています。

ヨハネ4:35「あなたがたは、『まだ四か月あって、それから刈り入れだ』と言ってはいませんか。しかし、あなたがたに言います。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。」

子育て時代を振り返って

雲井キリスト福音教会 森田千鶴子

子育て時代のことは、今思い出しても大変だったより、楽しかった記憶の方が多いです。2歳違いで生まれた3人の子どもたちは、それぞれ個性も違い、上の子で成功したからと言って、同じやり方を試しても、全く違う反応が返ってきて毎回バタバタでした。

長女の心は今はおっとりしているように見えますが、生まれた時から本当に神経質で、少しの物音でもすぐ目を覚まし、彼女をベビーベッドに下ろすまでが大変で、何とか着地に成功したら、掃除機などはもちろん音など出したら大変でした。また泣き出すと過呼吸でひきつけそうになるので、脳神経外科で診察をしてもらったこともあります。なかなか寝ない時は車で信楽中を走り回りました。

次女の愛里は大好きなぬいぐるみと一緒にベッドに入れば一人で寝てくれ、手がかかりませんでした。しかし保育園から小学校の時には、いじめにあって学校を休むこともありました。彼女は人間関係で苦労しましたが、その都度親子で話し合い、祈ってきました。幸い中学高校では部活で彼女のことを理解してくれる良い友人に出会うことが出来、楽しい学生時代を過ごせたようです。

末っ子の拓人は、3月生まれということもあり、いつも姉たちに助けってもらっていたせいか、保育園に上がっても先生や周りのお友達に手伝ってもらっていたようです。彼は不思議と周りの人に手助けをしてもらえる賜物があったようです。

子どもたちが生まれて10年間住んでいた教会の2階は、スリヤ宣教師が地元の大工さんと一緒に建てられたもので、それを自分たちで住みやすいように手を加えていきました。教会員も大好きなのですが、今時には珍しい木造の手作り感満載の建物なので、子どもたちは学校でからかわれたり、ご近所の方と出会うと、「教会さんの子やね」と言われるのが嫌だったと、後年聞きました。子どもたちも教会に住むことで、他の子どもにはわからない外圧を感じていたようです。しかし当座は親の気持ちを考えて、話すことも出来なかったのでしょうか。可愛そうなことをしてしまったと今は思います。

子どもによって感受性は違うので全ての子に当てはまるとは言えませんが、このようなことも頭の隅に入れておく必要があります。幸い私たちは事情があって、主人の実家の近くに移越すことになり、全く新しい環境で子どもたちは生活することになったので、慣れ親しんだところから引越す淋しさはあったかもしれませんが、その子にとってはプレッシャーから解放され

て良かったようです。

父が牧師で二人で教会の働きをしていることもあって、教会の行事にはもれなく連れていかれ、聖会などに行くと、自分は知らない人からも「○○ちゃん」と声をかけられドキドキすることも、また地域の祭りなどにはいかないわが子のために、主人は家族で楽しめるいろいろなことを計画し、車で連れて行ってくれました。

春は潮干狩り、夏は海水浴、秋や冬も。その旅行は長女と次女が結婚するまで続けました。子どもたちが小さい時は、働きながら牧教会をしていたので、遠方へ行く時は、主人の仕事終わりの金曜日に家を出て、現地に夜中に着いて仮眠の後、土曜の朝から一緒に海で遊んだり、別の時は動物園や遊園地で遊んだりして、土曜の夜に家に戻り、日曜日には朝から教会の奉仕というハードなスケジュールでした。もちろんホテルなどには泊まれないので、ほとんど車中泊でした。子どもたちがみんな働くようになってからは、ホテルや旅館に泊まれるようになりましたが、思い出に残っているのは何といても車中泊で出かけたあちこちだと、今でも子どもたちは言っています。子どもたちのために、本当によくやってくれたと、主人には感謝で一杯です。楽しいことは子どもの心に残っています。大切ですね。

子どもたちはそれぞれの思いを抱えながらも、高校生活や部活に頑張ってくれていましたが、息子が高3ぐらいから、問題行動を起こすようになり、子育てに悩む日々がありました。自分たちの子育てを反省しながら、神さまに祈るだけでした。そんな彼も就職先であった危機的な状況を通して、神さまに真剣に祈り、神さまの助けを経験して、少しずつ変えられていきました。その数年後、誰も予想だにできなかった献身の道に導かれ、KBIを卒業し、今は母教会である雲井キリスト福音教会で、働きながら伝道師として奉仕しています。二人の姉もそれぞれ結婚し、クリスチャンホームを築いています。神さまと私たちを祈り支えてくださった全ての方々に心から感謝しています。



あかし 神様の導きの中で

福井自由キリスト教会 山本 謙生



私は牧師家庭に生まれ、生まれる前から教会に通っていました。幼い頃から神様はとても身近な存在でしたが、逆に洗礼を受ける決心はなかなかつきませんでした。

中学2年の秋に起立性調節障害を発症し、車椅子での生活を強いられるようになりました。体も心も限界に近づいていたとき、神様は「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」(イザヤ書 43:4) という御言葉を通して、私の存在そのものが愛されていることを示してくださいました。その出来事がきっかけとなり、中学3年のイースターに洗礼を受けました。

その後も、私の歩みの中に神様の導きを何度も感じてきました。特にコロナ禍の初期に教会のオンライン礼拝配信を主導させていただいた経験は、与えられた賜物を用いて神様に仕える機会となりました。この経験から「もっと神様のことを深く学びたい」と思い、昨年、東京基督教大学(TCU)に入学しました。

TCUでの一年間は、想像以上に恵みに満ちた時間でした。神学の授業を通して、ただ聖書を知識として学ぶだけでなく、自分の信仰を問い直し、深める機会が与えられました。また、仲間との祈りやディスカッションを通して、信仰を分かち合う喜びや、互いに支え合う大切さも実感しています。

まだ自分がどのように神様に用いられていくのかははっきりと分かりませんが、「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。」(ルカの福音書 9:23) との御言葉を胸に、与えられた場所で忠実に歩んでいきたいと願っています。



見える言葉を与えられて

平川めぐみ教会 石井 優奈

こんにちは。私の名前は石井優奈です。青森県にある平川めぐみ教会の中で週に一回手話交流会を担当しています。

私は生まれつきの聴覚障害者です。しかし、ろう学校ではなく健聴者の通う普通の公立校で高校まで教育を受けて育ち、そのまま社会人になりました。長くなりますので略しますが、聴覚障害者が健聴者の社会で生きていくことは容易ではありませんでした。

青森県から夫の住む東京に転居し、そこで手話を学ぶ機会を得ました。同時に信仰告白、洗礼を受け私のクリスチャン生活は手話と共にありました。ずっと曖昧だった私の毎日の会話は、手話によって鮮やかなものになりました。主は聞こえる耳ではなく、お互いに見える言葉を与えてくださったのです。

しかしコロナ禍になり生活も変わり、私は夫と共に青森県に移住することになりました。そこで地元で教会が建ったことを知り、平川めぐみ教会に通うようになりました。手話の歴史を学ぶ上で手話は教会で生まれたものであることを知っていた私は、教会で手話を使う場を作りたいという思いがありました。主が導いてくださり、教会の兄弟姉妹や私の夫の応援もあって、この思いを口にしてすぐ手話交流会を立ち上げることになりました。

初めは青森県ではまだまだ少数派の手話と言う言語にどれだけ興味が集まるのかとても不安でした。しかし手話交流会の一日目から今日に至るまで一人も来ない日はありません。主は私の働きを祝福されたのです。このことを深く感謝しています。

これを読んでくださった方に、この御言葉を共有したいと思います。

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。」

■ チャレンジキャンプ報告

〈イースト〉



南大阪福音教会の福野貴嗣師・友美師をご家族でお招きし、マタイの福音書 11:29 をテーマ聖句とし『ズッキリ!!!』をタイトルに開催しました。

ディポジションを学んだり、聖書の登場人物をグループで一つの動画やスキットにして表現したり。今回はユースにも奉仕のチャレンジをしてもらいました。

共に成長する横のつながり『ズッ友』と、いつも離れず共にいてくださるキリストと共に生きることを受け取る三日間でした。どちらもかけがえのない存在で、これからも続く大切な関係です。

今回のキャンプでは事前に多くの献金を頂きました。また、これまで同様、祈りをもってユースを送り出して下さる方々、会場を貸して下さった教会、快く食事のご奉仕を下さった皆様の深い愛と、キャンプに向けた期待を受け取り、感謝が溢れました。
(町田純福音教会 石井すみれ)

■ 敦賀自由キリスト教会60周年

〈FCMF〉



敦賀自由キリスト教会は創立60周年記念礼拝&セレモニーとアニバーサリーコンサートを4月20日にもちました。バイブルメッセージは小山大三先生、賛美ゲストは向日かおり氏をお迎えしました。

イースターであるこの日は遺族も集い、礼拝では召天者をスライドで覚えました。イエス様の復活を歌う力強い特別賛美で心に触れられ、「復活の希望」のメッセージを受け取りました。その後、創立伝道師である札幌榮子師に花束の贈呈を行いました。午後はハンドベル演奏の後に教会60年を振り返るスライドショー。そして、コンサートタイム、バイブ

ルメッセージと続きました。神様の祝福、癒しの奇跡を受け取るお勧めもなされ、会衆が未信の者も含めて両手を上げて祈る時へと導かれました。

一日を通じて、神様が教会をさらに祝福して下さる期待に満ちた喜びの時となりました。
(札幌義宣)

■ 恵風聖会報告

〈キリスト福音〉



キリスト福音教会「恵風聖会」が、2025年2月24日に日本フィンランド学校で開かれました。(参加者は108名)

テーマは「みことばの戸が開く」(詩篇119篇130節)が掲げられ、聖会のゲストとして、京都シオンの丘キリスト教会(京田辺市)の後藤利昭牧師をお招きしました。

使徒たちの時代は、聖霊とみことばで主の御業が力強く働いていたように、聖会においても、同じように聖霊様が望んで下さることを願っていました。それで、聖会にふさわしいメッセンジャーを思い巡らしているとき、神の言葉と祈りによって牧会しておられる後藤利昭先生が心に浮かび講師としてお招き致しました。

聖会は3回あり、1回目はご自身の証をかねて話され、2回目はキリスト教会の歴史、3回目は、みことばと全員がひざまずいて聖霊様を求める祈りの時間となりました。聖霊様が働かれる中、ひとり一人に主が語って下さいました。(キリスト福音教会情報誌「GOSPEL ON」より抜粋)

(木幡キリスト福音教会 中坊久行)

■ KBI

いつもKBIのために、祈り、支えてくださりありがとうございます。

今年度は新生が13名、3週間コース16名、2年編入1名が与えられ、大なる祝福の中スタートしました。よく聞かれることがあります。「なぜKBIは人が集まってくるのですか?」と。私も正直よく分かりませんが(笑)、ひとつだけ確信をもっていることがあります。それは、宣教に開かれているからだ。KBIは皆さんもご存じの通り超教派の神学校です。来ている学生の信仰のバックグラウンドも三者三様です。しかし違いを超えた不思議な一致が与えられます。「宣教」という目指すべきゴールが明確だからです。これはKBIで受け継がれてきた霊的遺産であり、アイデンティティです。今年度の学生たちも、この霊的遺産を受け継ぎ、「宣教の器」へとつくり変えられていくことを心から主に期待しています。
(関西聖書学院舎監 富浦信幸)

教会紹介 須磨自由キリスト教会 兵庫県神戸市須磨区禅昌寺町 1-4-20

あなたの教会の年間聖句は何ですか？

コリント人への手紙第二 6 章 2 節（新改訳 2017）です。

神は言われます。「恵みの時に、わたしはあなたに答え、救いの日に、あなたを助ける。」
見よ、今は恵みの時、今は救いの日です。

伝道は何に力を入れていますか？

●未信者の御婦人が複数名、教会に来られるようになり、それぞれの家庭に訪問し、お祈りを捧げるようになり始めました。

●近隣の子供達に教会の会堂を開放しています。

「こども勉強会」毎週火曜日 15:30 開催 「こども食堂」第 4 火曜日 17:00 開催

教会形成では何に力を入れていますか？

超高齢化社会のなか、これからの教会は、高齢者の方に寄り添う教会になっていきます。電車、バスで教会に来られる方が困難になってきているなか、各家庭が「礼拝の場」になるよう家庭集会に力を入れています。（平川久）



教会情報・働き人情報

□ T P K F

○代表者会議

2025 年 9 月 2 日(火)～3 日(水) 会場:「すいとびあ江南」
担当: T P K F イースト

■キリスト福音

○大津韓国福音教会

2024 年 10 月末 村岡清彦牧師退任

○守山キリスト福音教会

マヌエル&ベアラ・ペルトネン宣教師一家来日

■ F C M F

○金津福音キリスト教会

1 月丸岡福音キリスト教会と合併し会堂を閉鎖

■ イースト

○ T P K F イースト 新議長 中見透師

○栄シャローム福音教会

2 月 23 日 新實千枝師 副牧師就任

5 月 1 日 小山英児師 栄シャローム福音教会の主任牧師を辞し、大和カルバリーチャペル教育牧師に就任（栄シャローム福音教会には協力牧師として引き続き協力する）

○秦野クリスチャンセンター

神奈川県足柄上郡開成町（かいせいまち）で開拓伝道準備中、

芳三容子師、荒井恵子師

○スウェーデン牧師達の日本訪問

2025 年 11 月 4 日～13 日 窓口:河西ヨルゲン宣教師

■ JPC 研修会

6 月 20 日(金) 11:00～15:30

場所:日本アッセンブリーズオブゴッド教団チャペル

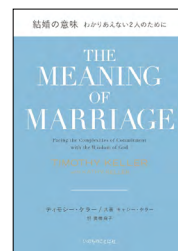
テーマ:若い働き人から学ぶーリバースメンタリングー

対面参加 3000 円、オンライン 1000 円

書籍紹介

「結婚の意味」

わかりあえない 2 人のために



著者 ティモシー・ケラー
共著 キャシー・ケラー 訳 廣橋 麻子
出版 いのちのことば社
定価（本体 2,000 円＋税）

本書は既婚者だけでなく独身者のためにも書かれた結婚に関する本です。著者の長年にわたる結婚生活や牧会経験、そして何より聖書の教えに基づいて、結婚が忍耐の要するものであると同時に、希望に満ちたものであることが語られています。私たち夫婦も結婚前にこの本を通して聖書の教える結婚について学び、今でも時折読み返し、教会の方々に紹介させていただくことがあります。結婚についてじっくりと学んでみたい方にお勧めの一冊です。（西川牧雄）

単立ペンテコステ教会フェローシップ諸教会

北広島自由キリスト教会 / 平川めぐみ教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会
横浜フィラデルフィア教会 / 磯子フィラデルフィア教会 / 金沢フィラデルフィア教会 / 横須賀クリスチャンセンター
保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 戸塚カルバリー純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター
北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会 / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
甲府カルバリー純福音教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ
いのちのパンの家 湘南 / 小松ベタニヤ福音教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / プンキョウゴスペルセンター
松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国) / 武生自由キリスト教会
グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜ライオンチャーチ / 美濃グレイスチャーチ / 本地ヶ原自由キリスト教会
瀬戸サレム教会 / グレイスインクライスト教会 (大阪キリスト福音教会名古屋伝道所) / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会
大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 京都ネットチャーチ
大阪キリスト福音教会 / 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィア教会 / LifeShare Christian Center / 南さつまキリスト福音教会
私たちの願いはすべての T P K F の信徒が 1 部ずつ持つことです。
ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。pentecost@tpkf.org

T P K F の公式ホームページ <https://tpkf.org/>

